

【天国への手紙

2018年12月23日放送分】

お母さんへ

ラジオネーム：じゅんや

お母さん、元気ですか？

たまにお母さんの事を思い出すと、申し訳ない気持ちと後悔が少し浮かんできたので、ペンを取りました。

よく、生きている間はなかなか親の有難みが分からないと言いますが、自分も解かりませんでした。

一人で生きるようになって初めて、親のありがたみや愛情、庇護を受けていた事実を知りました。

何であんなに我儘でいられたんだろう。

欲しいものがあれば直ぐにお母さんに言い、無心の限りを尽くした感じです。その時は当然だと思っていました。

思い通りにいかない時は、逆ギレして責めもしました。

本当にごめんささい。

自分も世間で揉まれ、どう考え、行動すると、

人から信頼を得るのか少しづつ勉強しています。

生きてく強さと同時に、思いやりを持つことの大切さも知りました。

仕事で部下もでき、指導する立場になったことも大きいと思います。

上司は親と違いますが、思いやりという点では、親に近い感じだと思います。

まだ何も分らない者に根気よく丁寧に指導していく。

そういう愛情も必要だと感じます。

部下が成長したら一緒に喜び、失敗した時も一緒に悔しがる。

「よし飲みに行こう!!」なんて羽目を外す時も

多々あります。

とにかく今自分が元気で働いていけているのは、

お母さんのおかげです。

自分が今まで受けた愛情、思いやりを自分の周りに

振りまいて行けるようこれからも頑張ります。

どうか天国で見守っていて下さい。

またお便り致しますね。

リクエスト曲

へ チキンライス / 榎原敬之  
く